

2022. 6. 10

発行: 桜本保育園

044(288)2545

# えんだより 5・6がつごう



木々の緑が 色濃くなる時期と なりました。園庭

に 新しくできた畑の 野菜たちの葉も 大きくな  
ってきています。新館で 活動を 始めた トラチの

会の ハルモニたちの 畑の場所を いただき お

もいきて 鉄棒の後ろの場所 全面を 畑にかえ

ました。こどもたちが 水を まきやすいように

小道を 作ったり 近隣の方から たくさん いただ

いた竹を 柵にしたりして 作りしました。

今年は ゴーヤ、きゅうり、なす、トマト、パプリカ、

すいか、メロンをうえ、ハルモニたちの かぼちゃを

そのまま 育てています。毎日 こどもたちが楽しみ

に みずやりを しながら 「すいかが できたら

どうする?」「メロンが ほんとに できるの?」と

話している姿が かわいいと 保育者が よろこん

でいます。さつまいもを 植えようと 場所を あ

けてあるのに 苗を 探しても 見つからず あきら

めて ネット注文。間に合うかな?。

ひと雨 ひと雨 野菜が ぐんぐんのびるのを こ

どもも おとなも 感じ 雨の大切さを 経験できる

すてきな時間に 感謝します。 (Y)



## 6月のよてい

4日 へんにむ FJD

8日 花の白礼拝

10日 にじいろめにゅー

15日 えんじけんしん

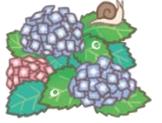
17日 おみせやさんごっこ

18日 フールそうじ

22日~ フール遊び はじまり

24日 にじいろめにゅー

29日 わくわくひろば



保育懇談会の 参加 ありがとうございます。  
連休明けの忙しい時に 時間を合わせてくださり  
ありがとうございます。

へんにむの FJDにも たくさん 参加して下さり  
ありがとうございます。Tシャツを染めたり おも  
ちゃをつくりたり ブラジルの遊びに挑戦したり  
こどもも ママたちも 笑顔がすてきでした。

すこしずつ みんなが 参加できるように 工夫  
していきますので 予定表を チェックして おし  
ごとを おやすみできるように

調整してくださいね。



News・おしらせ・알림・balita

☆ 退園しました。

무궁화 1名・별님 1名・헛님 1명

げんきでね。

☆ 入園しました

무궁화 1명

よろしくね

Noticias・通知・Tin tức

「子どもを祝福する」

「子どもたちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。そして、子どもたちを抱き上げ、手を置いて祝福された。」(マルコによる福音書10:14、16)

子育て支援関連の機関誌に「子どもは、社会で育てるみんなの宝物」という記事がありました。そこには人類誕生のころから、みんなで助け合って育ててきたと考えられているようなので、母親一人にしかも密室で子育てを強いていることは人類の歴史から言って不自然で、いろいろな人との関わりが人間らしさの育ちに重要だ(『ふたば』No.77参照)と書かれていました。

今月の聖句に、イエスさまが「子どもたちを抱き上げ、手を置いて祝福された」とあります。イエスさまが抱き上げた子どもはどのような状況におかれていたのでしょうか? 「イエスに触れていただくために」人々が子どもをイエスさまのもとに連れて来たのには、何か事情があったと思われま。しかし、そんな人々を弟子たちは叱りました。その当時子どもは軽んじられていたことを考えますと、当時の「当たり前」を否むように、「子どもたちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない」と子どもを招くイエスさま。「神さまは何よりも子どもを愛され、幼な子こそ尊重されるべき存在」であって、「社会的弱者の子どもを受け入れる」社会こそ、神のみ心にかなう社会であると諭され、子どもを抱き上げ、手を置いて祝福されました。

イエスさまの言葉は、子どもたちをめぐる暗いニュースが絶えない今の社会に向けられた言葉でもおと思ひます。どんな時も小さないのちを大切にされたイエスさまのみ心にわたしたちの心を合わせて祈りをひとつにしていきたいと思ひます。「みんなの宝物」として子どもたちを育てることのできる地域でありますように。

桜本保育園では、5月に「家族の日」の礼拝、6月2週目に「花の白・子どもの白」の礼拝を守ります。この日は「子どもたちが、神と人から愛され、健やかに成長するように祈りを捧げる日」としてあります。礼拝の後、みんなのために働いていらっしゃる方々、地域の方々にカードを届けています。



(チャブレン 鄭富京)

